

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和3年度分)

法人名	独立行政法人国際交流基金	
案件番号	2	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	国際交流基金への障がい者有料職業紹介等業務	
契約締結日	令和3年8月2日	
契約の相手方の商号又は名称等	パーソルチャレンジ株式会社	
入札経緯及び結果	令和3年4月1日 入札公告 令和3年5月13日 仕様書に係る質問受付締切 令和3年5月21日 提案書提出期限 令和3年6月3日 結果通知	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	参加資格のうち、過去の実績にかかる条件を緩和したほか、提案書に記載すべき事項のうち、過去の実績にかかる記載事項を簡素化した。
②業務等準備期間の十分な確保	-	求人が必要が生じた際に人材紹介を依頼するという業務の性質上、契約締結後直ちに業務が発生するわけではない。
③公告期間の見直し	○	公告から提案書提出まで3週間程度から7週間に拡大した。
④公告周知方法の改善	○	上記のとおり4月1日に公告の後、これまで取引のある企業や関心を示していた企業計2者に、ウェブサイト上の公示を案内した。
⑤電子入札システムの導入	×	
⑥業者等からの聴き取り	○	前回入札(平成30年)の際応募を得られなかった一者に対しアンケートを実施したほか、個別に聞き取りを行い、①及び③記載のとおり改善に努めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回の競争においては、提案書記載事項について簡素化することを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
基金の取組みは妥当であると考える。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き上記取組みを実施していく。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
渡邊一弘委員、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。